

〈ステップ3〉 実践を省みる → 今後に生かす

授業力アップカード (研究授業や自分の授業で活用しましょう。)	実施日	月 日 () 校時		授業者	記録者
	学級	年 組	教科名等	理科	単元名 気体の性質 等

	番号	観点(キーワード)	内 容	◎よかったこと・取り入れたいこと	△気付いたこと
共通の項目	1	導入	興味・関心を高めるための工夫をしている。	◎身近な教材で関心をもたせる導入を行っている	
	2	ねらい	学習のねらいを明確にし、見通しをもたせる。		
	3	学習ルール	基本的な学習ルールを定着させている。		
	4	発問	思考を揺さぶる意図的な発問(問うべき問い)を行っている。		
	5	教材・教具	教材・教具を効果的に活用している。		
	6	主体的な活動	児童生徒の主体的な活動を促す工夫を行っている。		△教師主導の授業展開になっている
	7	学習形態	必要に応じて、一斉・グループ・個人などの学習形態を工夫している。		
	8	板書	児童・生徒の理解を促すための効果的な板書がなされている。	◎1時間の学習過程がわかる板書になっている	
	9	指示	的確な指示を出して集団を動かしている。		
	10	説明	分かりやすい説明をしている。(声の大きさ・はやさ・言葉遣い等)		
	11	評価	評価方法や評価の場面が適切で、その結果を指導に生かしている。		
	12	個に応じた指導	児童生徒一人一人に対応し、個に応じた手立てを講じている。	教科の単元に応じた観点を加える。	△十分なふりかえりや、まとめの時間かきとけいない。
	13	まとめ	課題に正対したまとめ・児童生徒の言葉によるまとめ・次時につながるまとめなど、振り返りを意識している。		
本授業について	1	学習活動	安全面の配慮	◎安全面に配慮した適切な指導を行っていた	
	2				

改善点を記入する。

教科の単元に応じた観点を加える。

具体的な授業改善の方法や前向きな意見を記入する。



所見
 ・炭酸飲料などの身近な教材を使って導入を行ったことにより、児童の興味・関心が高まった。
 ・子どもたちが動く場面が少なかった。子どもが主体的に取り組める指導過程の工夫が必要である。

